

■自己紹介・履歴

藤本 誠（ふじもと まこと）

1952年、熊本県八代市鏡町生まれ。1970年、日本福音ルーテル熊本教会にて受洗。熊本高等学校卒、熊本大学大学院文学研究科修士課程修了。1980年より九州学院中学・高等学校教職（国語科）就任、日本キリスト教文学会、日本近代文学会、熊本近代文学研究会、椎名麟三研究会に所属（現在退会）。

九州学院中学・高等学校元教頭、2020年九州学院を退職。

現在、〈九州学院 創立100周年記念 歴史資料・情報センター〉センター長。日本福音ルーテル熊本教会会員。

【主な編纂著書】

- 『九州学院百年史』—九州学院とその時代—（2012年11月1日発行、九州学院百周年記念史編纂委員会）
- 『^{ことば}み言に生きる 誠少年物語 九州学院朝礼奨励集』（2018年12月25日発行、熊日出版）
- 『日本福音ルーテル熊本教会 宣教122年の歩み』（デジタルPDF版）（2021年発行、日本福音ルーテル熊本教会）

【主な共著】

- 『うしてらるるもんか 熊大自主講座講義録「僻遠」第二巻』（1982年5月30日発行、熊本日日新聞情報文化センター）
- 『熊本の文学』：「石光真清—その幻視と挫折—」（1985年9月30日発行、審美社）
- 『熊本の文学 第二』：「堀田善衛—『海鳴りの底から』論—」（1988年11月10日発行、審美社）
- 『日本の近代小説』：「福永武彦『草の花』論」（1989年4月2日発行、近代文学研究会編、協和書房）
- 『熊本の文学 第三』：「阿川弘之—『雲の墓標』論—」（1994年3月30日発行、審美社）
- 『宣教百年記念誌』：「椎名麟三・その信のパラダイム—椎名とキルケゴールの自由をめぐる—」（1998年10月11日発行、日本福音ルーテル熊本教会）
- 『論集 椎名麟三』：「深夜の酒宴」論—その言説と出来事—（2002年3月25日発行、椎名麟三研究会編、おうふう）
- 『キリストの愛を伝え 共に成長する』：「九州学院の歩み」—日本最初のルーテル教会ミッションスクールとして—（2009年8月24日発行、るうてる法人会編、リトン）
- 『ジェーンズが遺したもの』：「ジェーンズ・熊本洋学校と遠山参良・九州学院」（2012年発行、熊本県立大学編、熊日新書・熊本日日新聞社）

【その他主な論文】

- 椎名麟三『永遠なる序章』—実存論的試論—：『方位』第五号（1982年11月10日発行、熊本近代文学研究会）
- 椎名麟三『その日まで』の世界—実存論的試論（二）—：『方位』第七号（1984年3月10日発行、熊本近代文学研究会）
- 椎名麟三におけるハイデッガーとキルケゴール—『永遠の序章』（創作ノート）をめぐる—：『方位』第八号（1984年12月5日発行、熊本近代文学研究会）
- 椎名麟三『赤い孤独者』論—復活信仰への実存的位相—：『方位』第十一号（1987年12月25日発行、熊本近代文学研究会）
- 福永武彦『死の島』論—その内なる世界と虚無の音楽—：『方位』第十二号（1989年3月25日発行、熊本近代文学研究会）

行、熊本近代文学研究会)

- 『懲役人の告発』論(一)―「創作ノート」と作品の成立をめぐって―:『キリスト教文学』第九号(1990年7月20日発行、日本キリスト教文学会九州支部)
- 〈椎名麟三と聖書〉「後期小説と聖書」:『椎名麟三研究』第九号(1990年11月5日発行、椎名麟三研究会)
- 椎名麟三『懲役人の告発』論(二)―存在と虚無・その实在の影―:『方位』第十四号(1991年8月15日発行、熊本近代文学研究会)
- 椎名麟三の〈ほんとうの自由〉について(一)―椎名とキルケゴールの自由をめぐる考察―:『方位』第十五号(1992年8月15日発行、熊本近代文学研究会)
- 「椎名麟三の文学とキルケゴール・『哲学的断片・後書』(椎名麟三資料)」:『方位』第十六号(1993年9月10日発行、熊本近代文学研究会)
- 「椎名麟三の文学とキルケゴールの実存思想」―『懲役人の告発』と『死に至る病』を中心に―:『キリスト教文学研究』第十一号(1994年5月15日発行、日本キリスト教文学会)
- 「漱石の結婚・夫婦」:『方位』第十九号(1996年9月26日発行、熊本近代文学研究会)
- 「深夜の酒宴」論(一)―「深夜の酒宴」の言説―:『椎名麟三研究』第十三号(1997年3月28日発行、椎名麟三研究会)
- 「深夜の酒宴」論―その言説と出来事―:『論集 椎名麟三』(2002年3月25日発行、椎名麟三研究会編、おうふう)

【一般社団法人くまもと文化振興会の総合文化誌『KUMAMOTO』(季刊)への連載論文】

【九州学院創立110周年】(1)～(5)が掲載された。

- (1)「九州学院の創設秘話」No.36(2021年9月)
- (2)「ルーセラ・ミッションスクール九州学院のルーツ」No.37(2021年12月)
- (3)「九州学院の創設・開校―キリスト教主義学校教育の始まり」(上)No.39(2022年6月)
- (4)「九州学院の創設・開校―キリスト教主義学校教育の始まり」(下)No.40(2022年9月)
- (5)「校訓『敬天愛人』とその精神」No.41(2022年12月)

【近代熊本とキリスト教】(1)～(6)が掲載された。(7)から以後の論考は歴史資料・情報センターHPに随時掲載。

- (1)「熊本のロシア兵捕虜 望郷のフィンランド」No.42(2023年3月)
- (2)「熊本洋学校とジェーンズ、熊本バンド」(上)No.43(2023年6月)
- (3)「熊本洋学校とジェーンズ、熊本バンド」(下)No.45(2023年12月)
- (4)「熊本洋学校後の近代学校教育」(I)No.46(2024年3月)
- (5)「熊本洋学校後の近代学校教育」(II)No.47(2024年6月)
- (6)「遠山参良と第五高等学校、花陵会」No.48(2024年9月で終刊)
- (7)「熊本洋学校後の近代学校教育」(三)(2024年12月、センターHPに掲載)

※以上の論考は、「九州学院 歴史資料・情報センター」のホームページにPDF版を随時アップし公開しています。

【学内講演】

- 創立者の精神を覚える会「初代院長遠山参良先生と創立の精神『敬天愛人』」(2014年10月9日、総合体育館)
- 育友会講演会『太平洋戦争終結に貢献した3人の九州学院OB』(2022年11月18日、ブラウン・メモリアル・チャペル)

※これらの講演のパワーポイント資料も〈歴史資料・情報センター〉HPにアップしています。